



2025 年 初夏号



欧州ラドン温泉療法研究会

研修旅行 @オーストリア・チェコ

2025 年 6 月 17 日～ 欧州のラドン温泉療法病院や研究機関を訪問してきました

欧州には、特にドイツ・オーストリア・チェコでは保険適応の治療法としてラドン温泉が利用されており、医師管理下でカルテが立てられ処方箋が発行されます。処方箋に従いラドン入浴を終えると、運動療法や作業療法などのメニューが個別に実行され、各自治療目的に応じたプログラムが実行させていただきます。患者の多くは、このプログラムの違いによって、選ぶ病院が変わってくるのだそうです。

さて、旅程前半では、オーストリア・ザルツブルク州ガシュタイナー地区を訪問しました。ガシュタイナー地区は3つの村で構成され、その1つにバードガシュタインがあります。バードガシュタインはハップスブルク家のスキーリゾートとして開発されてきた背景があることから、今でも冬はスキーを目的とした多く観光客で賑わいます。これらの宿泊施設を病棟として複合運営したことで有名になったのが、ガシュタイナー・ハイルシュトレン ラドン坑道浴病院です。他、同地域で入院型ラドン療法リハビリ病院や、ラドン研究を続ける医科大を訪問し、ラドン入浴体験や施設見学、講義を受けてきました。



後半はチェコに移動し、キュリー夫人の放射線研究に縁の深い、ヤーヒモフを訪問してきました。ヤーヒモフには120年を超えるラドン温泉病院があり、世界屈指の高濃度ラドン温泉水を扱う事でも知られています。昨年は、キュリー夫人研究会が開かれたことで、ヤーヒモフが再び世界から注目されています。

ラドン温泉療法体験

現地ドクターとの交流

10 日間に及ぶ旅程での研修旅行には 7 名の方に参加いただきました。有難うございました。欧州で行われるラドン療法の現状を知る方が増えた現実に感謝しております。また、以下に記した施設への訪問や研修を受けられる団体は、当研究会のみです。今後この様な研修旅行が企画できるよう、情報発信や勉強会開催等にも努めてまいります。



ガシュタイナー ハイルシュトレン坑道浴病院(バードガシュタイン村)

日本で最も有名なラドン坑道浴病院です。廃坑になった坑道の地下に流れるラドン温泉の蒸気が吹き溜まり、高濃度のラドン蒸気浴を体験することができます。欧州で唯一自費治療でラドン療法が受けられる病院である事から海外からも多くの利用客が訪れます。

(右画像は病院施設正面玄関前にて撮影)

クリニック バードガシュタイン (入院型リハビリ病院)

バードガシュタインに 5 箇所ほど在るラドン入浴治療病院のうち、最多の病床を持つリハビリ専門病院。最近ではコロナ後遺症も受け入れている。5 年前は 50 床程度であったが、現在では 136 床にまで拡張。同時に、次世代の医師やコメディカル育成にも力を入れており、地域全体で必要とされる人材教育プログラムを運用中。

ラドン熱気浴 (バードガシュタイン公衆健康センター)

バードガシュタインで最も古いラドン療養施設。規模が小さいため、地域のラドン浴センターとして機能している。短期利用者や、高血圧で坑道浴に入れない方への対応策として活用されている。

パラケサス医科大学 (ザルツブルク市)

ラドン計測法を確立し、ノーベル賞を受賞したベクレル博士の研究を引き継いだ医科大学 (ウィーン大学→インスブルック大学→パラケサス医科大へと移行)。ラドンによる抗炎症作用を研究している。

ヤーヒモフ ラジウムパレス (ヤーヒモフ村)

キュリー夫人の放射線研究のための試料提供や、資金援助をしたラドン温泉病院。世界最大の銀鉱山として栄えた町であったが、やがて銀が枯渇すると急速に衰退。しかしキュリー夫人らの研究で放射性物質が発見されると、町は再度息を吹き返した。この復活劇の一翼となったのが現在も運用されるラジウムパレス・温泉病院である。ボヘミアングラスに色が付いたのはここから産出されたウランによる。



KLINIKUM
BAD GASTEIN
für Orthopädie und Rheumatologie

EIN HAUS DER KLINIKUM AUSTRIA GRUPPE



P
ARACELSUS
MEDIZINISCHE PRIVATUNIVERSITÄT



LÉČEBNÉ LÁZNĚ
JÁCHYMOV